岩盤ボーリング柱状図

調査名　一級河川江の川水系 神宮寺川 測量設計地質調査業務委託（通常砂防・交付金）

事業・工事名

調査目的及び調査対象　道路　掘削・掘削のり面

ボーリング名	R3-Bor.No.3	調査位置	広島県庄原市口和町（管理道No.12　L2.5）	北緯	34° 55’ 07.1784″
発注機関	広島県北部建設事務所　庄原支所	調査期間	令和4年 1月 7日～ 令和4年 1月 8日	東経	132° 53’ 42.4320″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 354.83m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	7.00m	地盤勾配	37° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-C / エンジン：ヤンマーNFD-13K型 / ポンプ：東邦BG-3B

標尺（m）	標高（m）	深度（m）	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率（%）／最大コア長（cm）／RQD（%）	記事	孔内水位／測定月日
	354.23	0.60		シルト質砂	褐								細砂主体で細粒分を30%程度含む。植物根混入する。	1/8 0.83
1				流紋岩	黄褐～淡褐灰	w5	h3	E				GL 01 100	岩組織をかろうじて残し脆い。指圧で容易にシルト質砂状となる。所々，礫状を呈する。	
2	352.83	2.00						D	VI	d	D	GL 01 100		1/10 2.30
3				流紋岩	灰褐							GL 01 100	岩組織が明瞭であるが，脆く指圧で砂状となる。	
	351.23	3.60										GL 01 100		
4				流紋岩	褐～青灰	w4		C	V	c	CL	GL 01 100	柱状コアで採取されるも，ハンマーで砕け砂礫状となる。礫や岩片が混在しており，硬軟のバラツキが著しい。GL-4.5～4.7m，5.3～5.5m，6.0～6.2m，6.5～6.7m間は岩片状を呈し，岩片は硬い。	
5												GL 01 100		
6												3 GL 01 100		
7	347.83	7.00										15 GL 15 100		
8														
9														
10														
11														
12														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
31	1.15	31		
	1.45	300		
50以上	2.15	50	180	
	2.33	180		
50以上	3.15	50	150	
	3.30	150		
50以上	4.00	貫入不能		
50以上	5.00	貫入不能		
50以上	6.00	貫入不能		
50以上	7.00	貫入不能		

原位置試験　室内試験

削孔月日	削孔速度（cm/h）	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧（MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	削水・送水量（L/min）	排水量（L/min）
1/7	180	66 ケーシング	5/8φ	0	50	0	W1 0	0
	150		W/メタル	0	140	0	W2 10	9
	130	66	W/ダイヤ	0	150	0	W2 6	5
1/8	110			0	150	0	W2 8	7